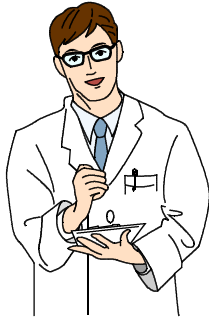


あむーる

鳥根県立松江北高等学校
第3学年 八幡英語通信
2016年11月21日発行
第21号

No.21



岡山大学・医学部医学科 柳 光 剛 志

先輩は語る<19>

▼センターに関して参考になることを教えてください。しっかり読んで!

センター試験

知っての通り、ほとんどの大学はセンター試験と二次試験によって入試を行います。二次試験も大事ですが、僕はセンター試験の多大な恩恵を受けて受かったと思っているので、二次の話は他の人をお願いして、今回はセンターについての話と、センターの実体験について話したいと思います。

まずセンター試験についてですが、某有名公立高校卒業の友達の話と比べても、北高のセンター演習の量は半端ではないので、演習量について心配する必要はあまりないかもしれません。毎週毎週の膨大なセンター模試は、本番前に必ず自分の自信を裏打ちします。つらくても休まず全ての模試を受けてください。また各先生方がおっしゃるはずですが、もちろん毎回の見直しも必須です。この見直しが質の向上につながるの、模試全てで見直しをしっかりと行えばセンター演習で量と質の両方を押さえられます。正直僕自身も3年に上がるまではあまり見直しをしていませんでした。でも見直しを習慣化してから自分の苦手なところを効率よくつぶせるようになり、成績の向上につながりました。是非、模試の見直しを習慣化して下さい。さて、月並みのことばかりではつまらないので僕なりの各教科のアドバイスをします。

【数学】 数学はⅡ・Bでどこまで点が取れるかにかかっています。実際問題かなり時間的に厳しいので、どの分野から解き始めるか自分なり試行錯誤してみるのも手かもしれません。Ⅰ・Aは変なミスをする、かなり落ち込んでしまい、後の教科に影響する可能性大なので正確に解く事も大事です。

【英語】 僕のR担任の八幡先生の言われたように「英語は絶対裏切らない」。英語は点がほとんど上下しない教科です。だから英語を確実な得点源にできるようしっかりと取り組んでください。また、数学と話がかぶりますが解く順番も自分に合ったものを見つけてください。友達には第6問題から解く人もいました。(注)最後に、結局英語は単語が読めないと問題が解けません。「英語は単語に始まり単語に終わる。」頑張ってください。

【国語】 僕の場合、国語は英語と違ってかなり点が上下しましたし、結局本番は国語に泣かされまし

た。という訳で的確なアドバイスをすることができません。しかし、国語が強い人は他の教科も必ず伸びると先生方も言っておられました。僕の二の舞にならないよう国語の先生にしっかり話を聞いて対策してください。

【理科】 どの科目をやるにしても基礎を固める事が重要です。教科書レベルを確実に解けるようにして下さい。実験などは教科書とほぼ同じ内容が試験に出たこともあるので、教科書の該当ページを見ておくのもお勧めします。特に化学は。物質の製法など流れを押さえて学習すると効果的です。

【地歴公民】 僕は地理選択だったのですが、とにかく問題をこなしました。暇な時間ができた時は地図帳を眺めたり、友達と問題を出しあったりもしました。世界史、日本史もそうですが暗記教科はとにかく演習量が大事です。一方で暗記教科は地道な努力が必ず点に結びつくのでコツコツやりましょう。

最後に僕のセンターの実体験を話します。まず試験当日はかなり緊張して鉛筆を持つ手が震えたのを覚えています。でも公民を受けたことで地歴の前には落ち着けたので、勉強してもいなくても公民を受けることをお勧めします。そして、本番でのケアレスミスの悔しさ&落ち込みは模試の比ではありません。僕は数Ⅰ・Aの試験後に、何かが見直しをしてしまい、ケアレスミスを見出し、帰りたいと思うぐらい落ち込みました。試験後の見直しは絶対禁止です。また、気持ちを切り替える事も本当に大事です。模試の時から意識してください。

長々と話してきましたが、センター試験は言うまでもなく非常に大切な試験です。そしてシビアな話、受験校決定に大きく関与してきます。自信をもって試験会場に行けるように、自分の第一志望校を受けるために、そして合格へ近づくためにも、気合を入れて対策してください。

頑張れ北高生!!

(下線は八幡)

●医学部希望の生徒の憧れがこの岡山大学です。超難関の競争が待ち受けています。かつての北高では複数の生徒が進学していたものです。柳光くんはセンターの心構えに関してとてもいいことを述べてくれていますが、彼の文章の中で、1カ所だけセンター試験を解く順番について誤解して欲しくない点がありますので、以下に注意しておきます。間違えないでくださいね。💎💎💎

センターの問題を解く順番について

問題を解く順の原則は<易>⇒<難>です。早い時間に解答用紙をたくさん埋めておく戦略を心がけるのです。したがって【知識問題】から【読解問題】へ進む、が大前提です。第1問、第2問とサクサクとこなしながら緊張をほぐし、調子が出たところで読解問題へ進みます。ここからは、自分の得意なものから解いていけばよいでしょう。配点が大きいからといって、いきなり集中力の求められる第5問や第6問から手を付けると、長文の難度が高かった場合には、リスクが高く迷路に陥って、時間配分を間違えかねません。第3問以降の順番については、模試や演習で自分なりにいろいろと可能性を試してみるといいでしょう。苦手な人はこれだけで結構点数が上がります。英語力のある人は、第1問から順に第6問に進むとよいでしょう。以上、八幡からのアドバイスでした。♥♥♥